



香港

劣悪なサービスでペットが犠牲に

● HKCCホームページ https://www.consumer.org.hk/ws_en/news/press/528/pet-complaint.html

香港では最近、他国への移住を希望する市民が増えたため、そのペットの海外渡航に関する手続きや移送の代行サービスを扱うペット業者が現れた。それに伴い、HKCC(香港消費者委員会)には悪質な業者に関する苦情相談も寄せられている。

最近の例を紹介する。ある消費者は急ぎ出国することになったため、ペットの亀1匹とトカゲ2匹を1カ月以内に移住先へ移送するようA社に依頼し7,100香港ドル(約96,000円)を支払った。しかし、3カ月経ってもペットは未着のうえ追加料金を要求された。A社による転売が疑われたため、HKCCに相談した。A社はHKCCが度々連絡しても無回答のため、HKCCは消費者に対し、まずはペットを救出し、さらにAFCD(農水産保全省)に直接そのペットの情報を提供して関連する健康証明書を確認

めるよう助言した。6カ月後に亀は消費者の手元に戻ったがトカゲは死んでしまったという。

HKCCは、ペットサービス業者はペットを単に物品のように扱うべきではないと強調し、特に、最近急増している移送サービスで早く利益を上げようと焦る業者によるペットの健康・生命無視の不十分かつ不当な行為が目立つと批判。消費者には、業者に依頼する場合であっても移住先の検疫システムやペットを移送できる航空便など事前に十分調べるよう勧めている。また、ペットサービス利用やペット購入の際は契約文書を交わし正式な受領書とともに手元に保管する、業者のスタッフ個人名義口座への振り込みは疑わしいので避ける、ペット販売業者のライセンスを確認、購入後はできるだけ早く獣医の健診を受ける、などを助言している。



アメリカ

飲料水でレジオネラ菌感染症のおそれ

● CRホームページ <https://www.consumerreports.org/water-quality/fears-of-legionella-in-drinking-water-grow-amid-pandemic/>
● CDCホームページ <https://www.cdc.gov/coronavirus/2019-ncov/php/building-water-system.html>

CR(コンシューマーレポート)はアメリカ版ザ・ガーディアン紙と非営利のメディアとの共同で長期連載企画「アメリカの水危機」を始めた。

アメリカでは、1974年制定の飲料水安全法によって汚染物質の監視、ろ過、消毒などが上水道事業者に義務づけられて以来、コレラや腸チフスなどの水媒介感染症をほぼ排除したとして、近年の水汚染の関心はプラスチック、農薬などの化学物質に移っている。ところが、いまだに病原菌等の微生物による汚染で例年400万~3200万人が何らかの症状を発症している。多くは軽微な消化器疾患だが、致命的結果を招くものの1つがレジオネラ菌感染によるレジオネラ症(肺炎)で、過去10年間の水媒介疾病の約6割を占め、2018年には約1万件がCDC(疾病予防管理センター)に報告された。

レジオネラ菌は自然界に存在し、水源となり得る淡水湖や河川、そして市中では最終供給地の建物の配管で増殖する。水飲み場、トイレ、エアコンシステムなどを通じて拡散したエアロゾル(噴霧)を呼吸器内に吸入してレジオネラ症を発症し、10例に1例は重篤になるという。2019~2020年に相次いだレジオネラ症では73歳の女性が死亡した。

そして今は、新型コロナの感染拡大でオフィスや学校などの施設が長期間閉鎖されたため、レジオネラ菌が増殖していると考えられる。CDCは施設再開に際してのガイダンスを発表し、水管理責任者に対し水道管の洗浄、温度の制御、建物内での適切な消毒剤の使用等の徹底を呼び掛けている。各家庭の消費者も頻りに水質検査を行い、適切な消毒剤やフィルターの使用でリスクを減らすよう勧めている。

オーストリア

洗濯時のマイクロプラスチック流出を防ぐには

- オーバーエスターライヒ労働者会議所ホームページ https://ooe.arbeiterkammer.at/service/testundpreisvergleiche/tests/Mikroplastik_in_Sportshirts.html
- 連邦環境庁ホームページ <https://www.umweltbundesamt.at/news200930>

スポーツウェア等に欠かせない合成繊維だが、洗濯により微細な繊維が流出し、河川や海を汚染するのではないかと気にする消費者も多い。そこで、オーバーエスターライヒ労働者会議所は、合成繊維製のスポーツ用シャツを家庭で洗濯する際、マイクロプラスチックがどのくらい発生するのか調べることにした。対象は、ポリエステル100%製の7商品を含む計10商品で、そのうち4商品にリサイクル繊維が含まれていた。また、マイクロプラスチック流出を防ぐという洗濯ネットが登場したことから、このネットにテスト品1商品(ポリエステル100%、一部リサイクル繊維)を入れて洗濯し、ネットに入れない9商品と比較した。これらのテストはオーストリア連邦環境庁に委託した。

その結果、洗濯ネットを使わずに、購入後初めて

洗濯した9商品では、マイクロプラスチック発生量が衣類1kg当たり50~258mgと、商品によって大きく異なることが分かった。リサイクル繊維が含まれているかどうか、価格が高いかどうかは数値に影響しないことも分かった。

一方、対策用ネットに入れて、購入後初めて洗濯した商品から流出したマイクロプラスチック量は、1kg当たり37mgだった。同一メーカー、同一素材の類似品をネットに入れずに洗濯した場合の流出量87mgと比べると、半分以下であることから、同ネットによる捕捉効果は高いと評価された。

なお、新品の衣類ほどマイクロプラスチック流出量が多いことから、同会議所では、衣類をなるべく長持ちさせるよう助言している。天然繊維の衣類を選ぶことも有意義だとしている。

ドイツ

うつ病を軽減する薬草の魔力は健在

- 商品テスト財団「テスト」2020年11月号 <https://www.test.de/Johanniskraut-Welche-Mittel-bei-depressiven-Phasen-helfen-5664465-0/>

体調が悪いとき、ドイツでは身近な薬草(ハーブ)を試してみるという人が多い。聖ヨハネ草(和名セイヨウオトギリソウ、英名セント・ジョーンズ・ワート)も出番の多い薬草の1つである。「聖ヨハネの日」(6月24日)前後に、黄色い花をつけることが名前の由来とされる。既に2000年以上前から薬効を認められ、悪魔を追い払う薬草として、中世の魔女伝説にも登場する。このような伝承から、「魔女草」「ワルプルギス草」とも呼ばれている。

聖ヨハネ草は、やけど・切り傷等の民間療法に使われるばかりでなく、抗うつ作用があることでも知られている。うつ病の症状を訴える患者に対し、医師が処方するのが同草調合の医薬品である。その一方で、医師の処方箋なしに購入できる医薬品もある。そこで、商品テスト財団では、この薬草が調合され

た医薬品の薬効をテストした。対象は、薬局での販売義務がある10商品(処方箋薬3、処方箋不要薬7)、ドラッグストア等で薬剤師でなくとも販売できる8商品の計18商品である。効果を判定するに当たり、医薬品の専門家による鑑定を参考にした。また、成分・配合量等から効き目やリスクを評価した。

その結果、薬局販売医薬品10商品は、有効成分の配合量が十分なことから、軽・中度のうつ症状を軽減する効果が期待できると判定された。また、副作用は比較的少ないとされるが、皮膚の敏感な人が服用すると光過敏症が現れること、他の医薬品と同時期に用いると、薬効が過剰に発現したり、減弱するおそれがあることを警告している。そこで、使用前や、服用しても効果が得られない場合は、医師の助言を受けるよう勧めている。